

ご近所のお医者さん

□
708
□

辻田 外科 院長
クリニック

久徳美樹さん

＝大阪市東淀川区

ケロイドって何？

私は大阪市で形成外科を専門として開業しております。今回はケロイドについてお話しさせていただきます。

「ケロイド」と聞いて想像するのが、「手術、やけどの痕のケロイドが……」という言葉です。しかし多くの場合それは単純に

瘻痕(傷跡)が盛り上がった状態を

指し、正しくは「肥厚性瘻痕」といいます。

これに対して「瘻痕がいつまでも増大し続ける状態」を真のケロイド、正しくは「真性ケロイド」といい、真性

ケロイドが発生する体質を「ケロイド体質」といいます。

真性ケロイドは前胸部、肩、肩甲骨

部、下腹部、耳介などによく発生し、胸のニキビ跡や予防接種の跡、ピアスの跡が盛り上がってきたという方はケ

ロイド体質を疑います。ケロイドで問題となるのは、それと知らず切除手術だけをする、手術瘻痕が盛り上がり、さらに大きなケロイドとなることです。肥厚した瘻痕を治療する際には真性ケロイドかどうかを判断することが必要です。

治療にはステロイド局所注射や電子線照射と手術を組み合わせますが、どの場合においてもケロイドは再発しやすく治療が長期にわたります。通院を

途中でやめてしまわないように、患者さんに十分に理解していただくことが重要となります。治療に要する期間は部位と大きさによりですが、1～3カ月程度の間隔で、数年は必要と思って治療されるのがよいでしょう。

治療は、最終地点として「注射をしなくてもケロイドが再発しないこと」を目指します。残念ながら、いったん発生したケロイドが元通りの正常皮膚に戻ること

正しい理解で早期受診

したケロイドが元通りの正常皮膚に戻ること

はありません。従って、ケロイド体質の方はケロイドの好発部位に傷をつくらないようにすることも重要です。けがや手術など避けられない場合もあります。ピアスなどご自身で選択できる処置はしないことをお勧めします。

治療が長期にわたるケロイドも早期診断、早期治療が大切です。いつまでも傷跡が盛り上がっている場合は、一度お近くの形成外科を受診してみてください。(府医師会広報委員会委員)

